

# 品川区の 景況

これは、平成 24 年 12 月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先 3 カ月間（平成 25 年 1 月～3 月期）の予想をまとめたものです。

平成 24 年 10 月～12 月期

調査対象	合計 359 社
製造業	85 社 卸売業 72 社
小売業	47 社 サービス業 72 社
建設業	83 社
調査方法	郵送アンケート調査
調査機関	(株)東京商工リサーチ

## 景 気 予 報

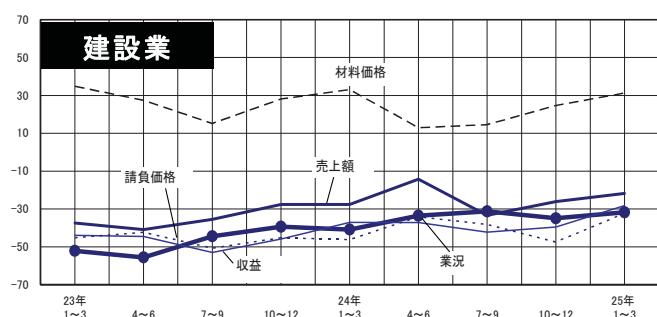
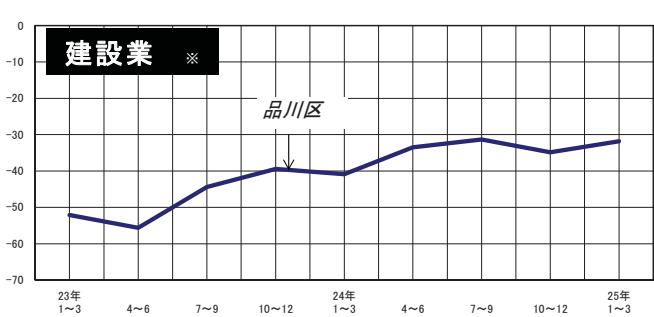
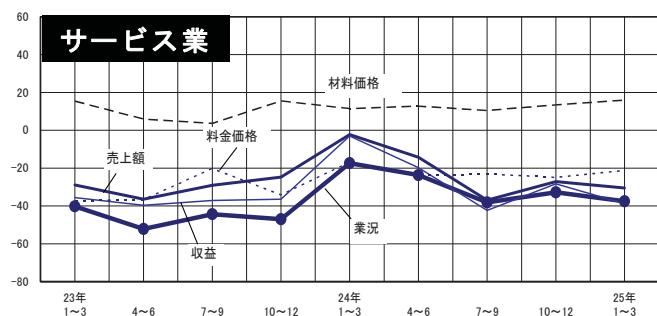
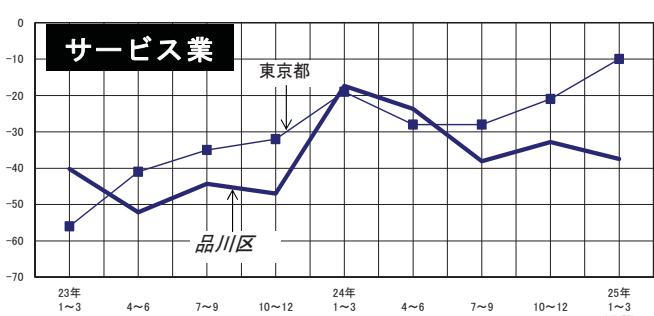
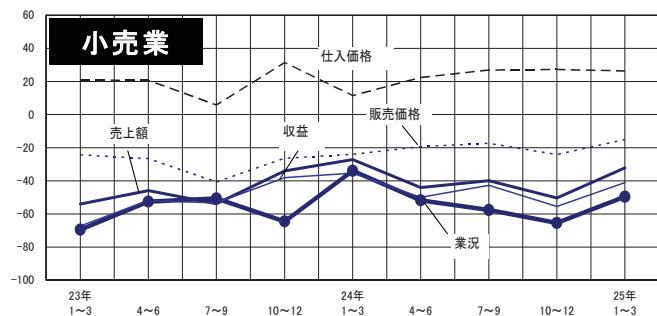
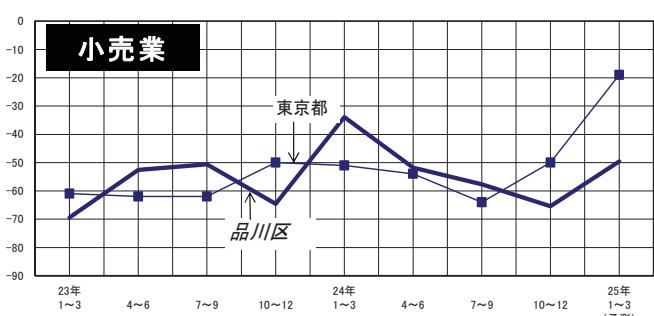
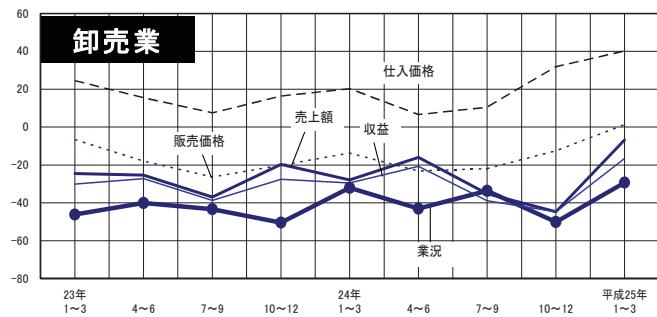
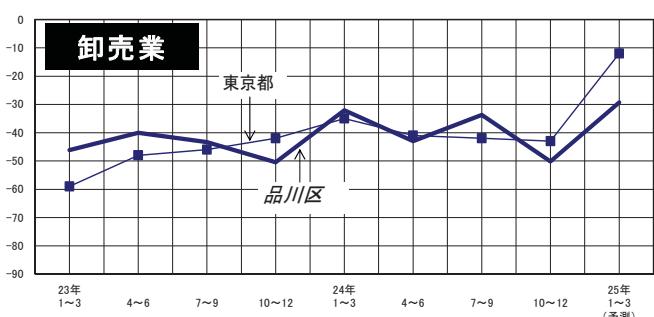
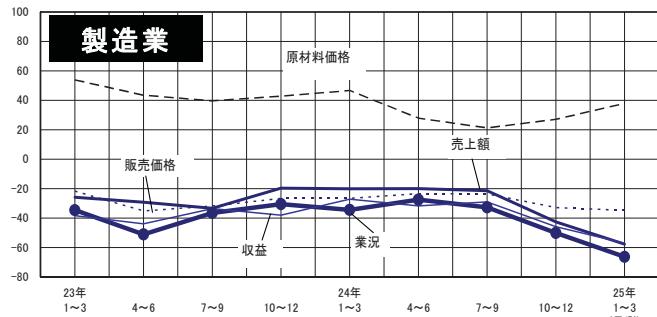
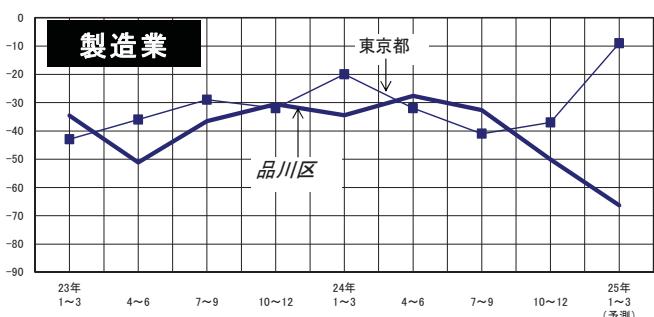


大きく下降 下 降 やや下降 横這い やや上昇 上 昇 大きく上昇

<b>製造業</b>	<b>今期</b>		業況は△50 と悪化幅が大きく拡大した。売上額は△43 と極端に減少幅を拡大し、収益は△46 となり減益幅が拡大した。販売価格は△33 と下降傾向を大きく強め、原材料価格は 27 と上昇幅がかなり拡大した。在庫は 22 と前期同様の過剰感が続いた。資金繰りは△33 と若干厳しさが和らいだ。
	<b>来期</b>		
<b>卸売業</b>	<b>今期</b>		業況は△50 と悪化傾向が大幅に強まった。売上額は△45、収益も△45 とともに減少幅・減益幅が大きく拡大した。販売価格は△13 と厳しさがかなり和らぎ、仕入価格は 32 と極端に上昇幅が拡大した。在庫は 16 と前期並の過多感で推移した。資金繰りは△24 と窮屈感が大きく強まった。
	<b>来期</b>		
<b>小売業</b>	<b>今期</b>		業況は△65 と前期に引き続き大幅に悪化傾向を強めた。売上額は△50、収益は△56 とともに減少幅・減益幅がかなり拡大した。販売価格は△24 と下降傾向を大きく強め、仕入価格は 27 と前期並の上昇が続いた。在庫は 9 とやや調整が進んだ。資金繰りは△44 と厳しさが多少和らいだ。
	<b>来期</b>		
<b>サービス業</b>	<b>今期</b>		業況は△33 と若干厳しさが和らいだ。売上額は△27、収益は△28 といずれも大きく減少幅・減益幅が縮小した。料金価格は△25 と下降傾向がわずかに強まり、材料価格は 14 と上昇幅が若干拡大した。資金繰りは△21 と前期同様の厳しさが続いている。
	<b>来期</b>		
<b>建設業</b>	<b>今期</b>		業況は△35 と多少低調感を強めた。売上額は△26、受注残は△23、施工高は△25 といずれも大幅に持ち直し、収益は△40 と減益幅がやや縮小した。請負価格は△48 と下降傾向を大きく強め、材料価格は 25 と上昇傾向がかなり強まった。在庫は△1 と適正範囲に保たれた。資金繰りは△38 と若干厳しさが増した。
	<b>来期</b>		

## 品川区と全都の業況の動き（実績） と来期の予測

## 業況と売上額、収益等の動き（実績） と来期の予測



\* 東京都の景況調査におきましては建設業の調査は実施されていませんので、全都の建設業の業況は表示していません。

## 品川区 業種別 経営上の問題点

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	
第1位	売上の停滞・減少	71 %	売上の停滞・減少	69 %	売上の停滞・減少	65 %
第2位	利幅の縮小	33 %	同業者間の競争の激化	40 %	利幅の縮小	30 %
第3位	同業者間の競争の激化	31 %	利幅の縮小	36 %	同業者間の競争の激化	26 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請	25 %	販売納入先からの値下げ要請	17 %	商店街の集客力の低下	20 %
第5位	原材料高	14 %	為替レートの変動	15 %	人手不足	15 %
				取引先の減少	17 %	
				下請の確保難	18 %	

## 品川区 業種別 重点経営施策

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	
第1位	販路を広げる	64 %	販路を広げる	65 %	経費を節減する	57 %
第2位	経費を節減する	54 %	経費を節減する	53 %	品揃えを改善する	39 %
第3位	新製品・技術を開発する	41 %	情報力を強化する	33 %	売れ筋商品を取扱う	33 %
第4位	人材を確保する	15 %	品揃えを充実する	19 %	宣伝・広報を強化する	22 %
第5位	情報力を強化する	14 %	新しい事業を始める 教育訓練を強化する	13 %	仕入先を開拓・選別する	20 %
				提携先を見つける	20 %	
				技術力を強化する	23 %	
				技術力を高める	39 %	
				人材を確保する	33 %	
				経費を節減する	52 %	
				販路を広げる	50 %	
				人材を確保する	43 %	
				技術力を高める	39 %	
				情報力を強化する	26 %	

## 東京都の景況

12月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は前期比6ポイント増の▲37と、大きく改善した。今後3ヶ月間（1～3月）の業況見通しDIでは、今期比25ポイント増の▲12と、非常に大きく改善すると見込まれている。

### 業種別に見ていくと

**製造業** 業況DI（▲37）は4ポイント増とやや厳しさが和らいだ。また、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）(10)は8ポイント増と上昇が大幅に強まった。一方、販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）(▲7)は1ポイント増と前期並の下降が続いた。今後3ヶ月間（1～3月）の業況見通しDI（▲9）は28ポイント増と厳しさが非常に大きく改善すると見込まれている。

**卸売業** 業況DI（▲43）は1ポイント減と前期並の悪化幅で推移した。仕入価格DI（8）は11ポイント増と大きく増加し厳しい状況に転じた。一方、販売価格DI（▲2）は8ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲12）は31ポイント増と非常に大きく改善すると見込まれている。

**小売業** 業況DI（▲50）は14ポイント増と大きく改善した。仕入価格DI（O）は7ポイント増と大きく増加し厳しい状況に転じた。販売価格DI（▲5）は11ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲19）は31ポイント増と非常に大きく改善すると見込まれている。

**サービス業** 業況DI（▲21）は7ポイント増と大きく持ち直した。販売価格DI（▲10）は増減なく前期並の下降が続いた。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲10）は11ポイント増と厳しさがかなり和らぐと見込まれている。

